

平成 31 年度 栄区セーフコミュニティ推進協議会

日時:平成 31 年4月 26 日(金) 14 時 30 分から 15 時 30 分まで
場所:栄区役所 新館4階 8号会議室

- 1 【報告】 セーフコミュニティ現地審査・再認証式典（平成 30 年度実施）について — 1 頁
- 2 【報告】 セーフコミュニティアンケートの集計結果について —— 5 頁
- 3 【議題】 平成 31 年度セーフコミュニティ活動について ——— 9 頁
- 4 【議題】 平成 31 年度セーフコミュニティ事業プロモーション活動について — 10 頁
- 5 【報告】 平成 30 年度の栄区セーフコミュニティ活動について
 - (1) こども安全対策分科会 _____ 12 頁
 - (2) スポーツ安全対策分科会 _____ 12 頁
 - (3) 交通安全対策分科会 _____ 13 頁
 - (4) 児童虐待予防対策分科会 _____ 13 頁
 - (5) 高齢者安全対策分科会 _____ 14 頁
 - (6) 災害安全対策分科会 _____ 14 頁
 - (7) 自殺予防対策分科会 _____ 15 頁
 - (8) 防犯対策分科会 _____ 15 頁

配布資料

- ・平成 31 年度 セーフコミュニティ推進協議会・各分科会委員名簿
- ・平成 30 年度 栄区セーフコミュニティアンケート 集計概要

■栄区セーフコミュニティ推進協議会 委員名簿

No.	役職	氏名	職位
1	会長	星崎 雅代	栄区長
2	副会長	磯崎 保和	栄区連合町内会会長、豊田連合町内会自治会会長、災害安全対策分科会座長
3	副会長	宮田 孝	栄警察署長
4	副会長	味上 篤	栄消防署長
5		持田 忠	笠間連合町内会自治会会長、防犯対策分科会座長
6		田中 健次	小菅ヶ谷連合町内会自治会会長
7		細田 利明	本郷中央連合町内会自治会会長
8		山田 直樹	本郷第三連合町内会会長
9		(総会で決定予定)	上郷西連合町会会長
10		芦川 弘	上郷東連合町会会長
11		日浦 美智江	栄区社会福祉協議会会長
12		佐野 勝彦	栄区民生委員・児童委員協議会会長
13		江口 一彦	栄区医師会会長
14		細川 治	横浜栄共済病院院長
15		大矢 享	栄歯科医師会会長
16		二宮 三嘉	栄区薬剤師会会長
17		片岡 喜久江	こども安全対策分科会座長
18		清水 正美	スポーツ安全対策分科会座長
19		森 克巳	交通安全対策分科会座長
20		宮崎 良子	児童虐待予防対策分科会座長
21		湯瀬 洋子	高齢者安全対策分科会座長
22		小田原 俊成	自殺予防対策分科会座長
23		田高 悦子	傷害サーベイランス分科会座長
24	参与	大桑 正貴	栄区議員団
25	参与	輿石 且子	栄区議員団
26	参与	石渡 由紀夫	栄区議員団
27	参与	楠 梨恵子	栄区議員団

セーフコミュニティ現地審査について(報告)

栄区は、WHOが推奨する国際認証セーフコミュニティを取得し、行政・関係機関・区民が一体となって安全・安心のまちづくりを進めています。平成 30 年 6 月 15 日（金）から 17 日（日）までの 3 日間、国際セーフコミュニティ認証センターによる現地審査を実施し、再認証の内定を得ましたのでご報告します。

1 現地審査概要

- (1) 会場：栄区役所、豊田小学校
(2) 日程表

平成 30 年 6 月 15 日（金）	区長表敬訪問、区内視察（本郷ふじやま公園での日本文化体験）、開会、栄区概要、傷害サーベイランス分科会発表
平成 30 年 6 月 16 日（土）	各分科会発表（こども安全対策、スポーツ安全対策、児童虐待予防対策、交通安全対策、自殺予防対策）、交流会（審査員、日本セーフコミュニティ推進機構、連合町内会長、分科会座長、栄区議員団、警察署長、消防署長、認証都市職員、栄区職員等が参加）
平成 30 年 6 月 17 日（日）	活動視察（豊田小学校地域防災拠点訓練）各分科会発表（災害安全対策、高齢者安全対策、防犯対策）、審査員講評

- (3) 審査員：デイル・ハンソン（Dale Hanson）先生、チョ・ジュンピル（趙 竣必）先生
(4) 視察者：平成 30 年 6 月 15 日～17 日の 3 日間で延べ 151 人
（国内他都市からの視察者 46 人、栄区関係者 88 人、その他 17 人）

2 主な審査員講評内容

- ・ 認証取得のための 7 つの指標（※）をきちんと満たすことができている。自信を持って活動を続けるとともに、他の都市へも発信してほしい。
- ・ 認証取得時から 5 年間、単に同じ取組を継続するだけでなく、振り返りを行うことで取組を見直し、変化を生み出すことができている。
- ・ 課題に対する取組全体を俯瞰し、必要な取組を行えている。既存の取組についても、一般区民が参加しやすいようにするために栄区としての工夫がみられる。
- ・ 行政、地域住民それぞれが双方向で取組を進めることができている。特に地域住民は栄区の専門家なので、地域の課題に対し声をあげ、取り組んで欲しい。
- ・ 今後は、分科会同士の連携も進めて欲しい。
- ・ 啓発活動による意識や行動の変化はもちろん、環境の改善という視点も重要。環境の改善には、予算や権限など様々な制約があるが、分野横断の組織をいかに権限のある組織へアプローチをしてほしい。

※参考：セーフコミュニティ認証取得のための 7 つの指標

- ①分野の垣根を超えた協働を基盤とした推進組織を設置する
- ②両性・全年齢、あらゆる環境・状況をカバーする長期プログラムを継続的に実施する
- ③ハイリスクの集団・環境および弱者を対象としたプログラムを実施する
- ④根拠に基づいた取組を実施する
- ⑤外傷が発生する頻度と原因を記録するプログラムを実施する
- ⑥プログラムの内容・実施行程・影響をアセスメントするための評価基準を設定する
- ⑦国内外のセーフコミュニティネットワークへ継続的に参加する

《裏面あり》

3 現地審査の様子



【区長表敬訪問】



【区内視察】



【分科会発表（自殺対策）】



【交流会】



【活動視察（豊田小学校）】



【活動視察（豊田小学校）】



【分科会発表（災害安全対策）】



【審査員講評】



【審査員とアドバイザー】



【再認証内定を記念して…！】

セーフコミュニティ再認証式典について(報告)

栄区は、WHOが推奨する国際認証セーフコミュニティを取得し、行政・関係機関・区民が一体となって安全・安心のまちづくりを進めています。平成30年10月6日（土）の再認証式典において、国際セーフコミュニティ認証センターとの合意書署名により正式に再認証を取得しました。

再認証式典概要

1 会場

栄公会堂講堂（たちーらんど内）

2 内容

(1) 再認証あいさつ

(2) 合意書署名

外傷管理プログラム（けが予防を通じた安全なまちづくり）を継続的に実施することについて、国際セーフコミュニティ認証センターと合意文書への署名により合意しました。

【署名者】

デイル・ハンソン国際セーフコミュニティネットワーク理事長、チョ・ジュンピル国際セーフコミュニティネットワーク副理事長、白石陽子日本セーフコミュニティ推進機構代表理事、磯崎保和栄区連合町内会長、宮田孝栄警察署長、味上篤栄消防署長、小山内いづ美栄区長

(3) 認証盾・旗の授与

(4) 審査員あいさつ

(5) 祝辞（磯崎保和栄区連合町内会長、小林常良厚木市長）、平原敏英横浜市副市長あいさつ

(6) セーフコミュニティさかえ絵画コンクール表彰式

(7) 分科会の活動紹介及び感謝状贈呈

(8) 再認証記念ミニコンサート

【出演者】

西本郷小学校 ハッピーレインボーコーラス、混声合唱団 栄フロイデ・コール

3 出席者

自治会・町内会関係者、セーフコミュニティ推進協議会及び8つの分科会委員、認証都市からの視察者など300名

《裏面あり》

【参考 再認証式典の様子】

【再認証挨拶】



【合意書署名】



【再認証が正式に認められました】



【小林常良厚木市長祝辞】

【平原敏英副市長あいさつ】



【絵画コンクール表彰式】



【分科会の皆様への感謝状贈呈】



【栄区賛歌の大合唱】



セーフコミュニティアンケートの集計結果について

平成30年11月に実施した栄区セーフコミュニティアンケートについて、主な項目を報告いたします。なお、詳細については別添の報告書（概要版）をご覧ください。

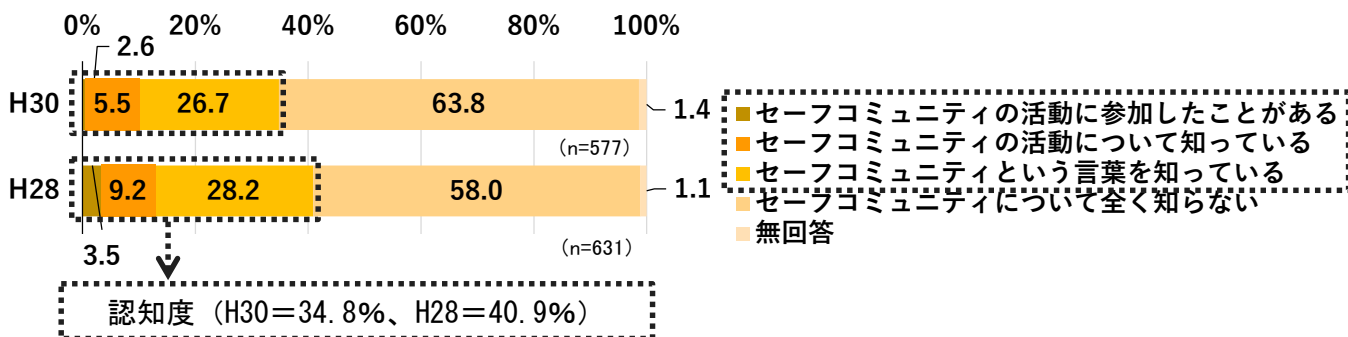
1 調査の概要

- 対象者：住民基本台帳から無作為抽出した栄区在住の20歳以上の男女1,500人
- 調査期間：平成30年11月2日（金）～11月23日（金）
- 実施方法：郵送 ■設問数：20問 ■回答者数：577件（回収率38.5%）

2 集計結果の概要

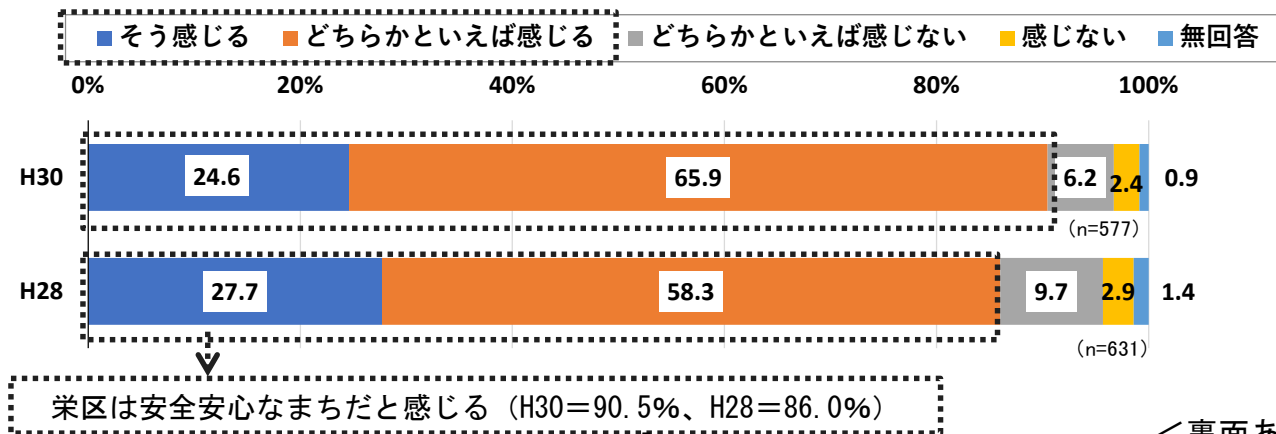
(1) セーフコミュニティの認知度（経年比較）

平成30年度のセーフコミュニティの認知度は34.8%となり、3割強の区民が何らかの形でセーフコミュニティを認知していますが、平成28年度調査の40.9%を下回る結果となりました。



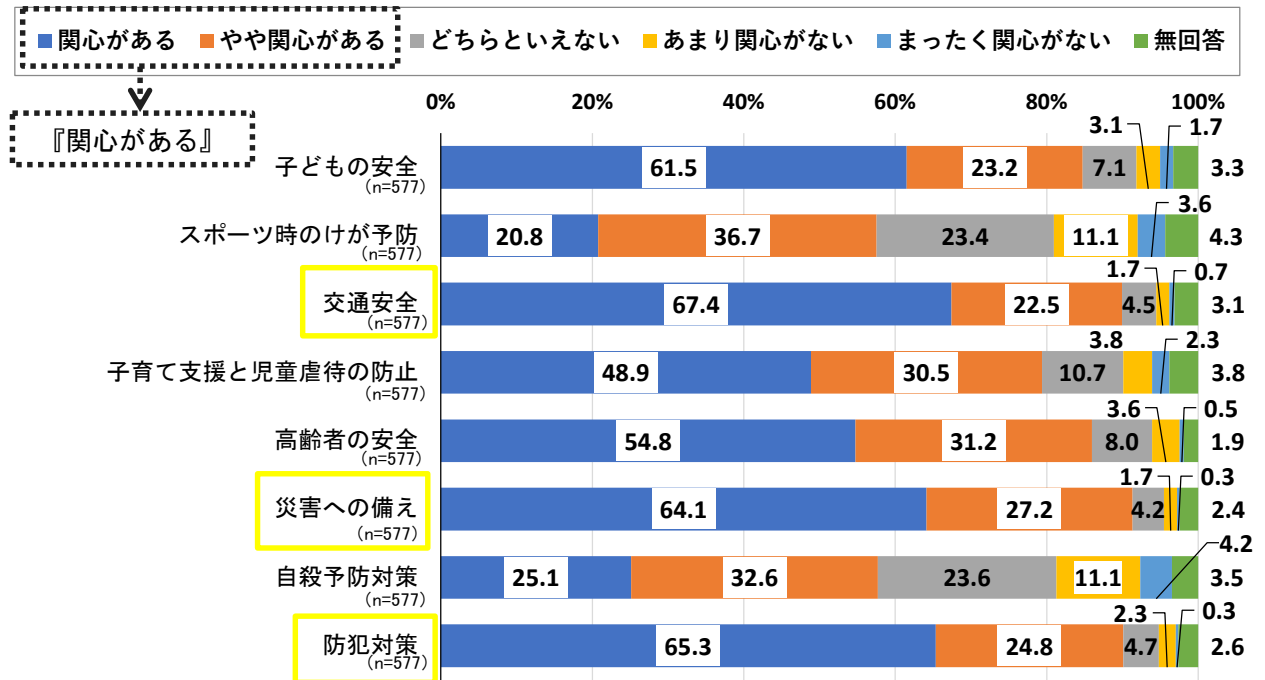
(2) 安全・安心への実感（経年比較）

栄区が安全・安心なまちだと感じるかどうかについて「そう感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた『感じる』方が90.5%となり、平成28年度調査の86.0%を上回る結果となりました。



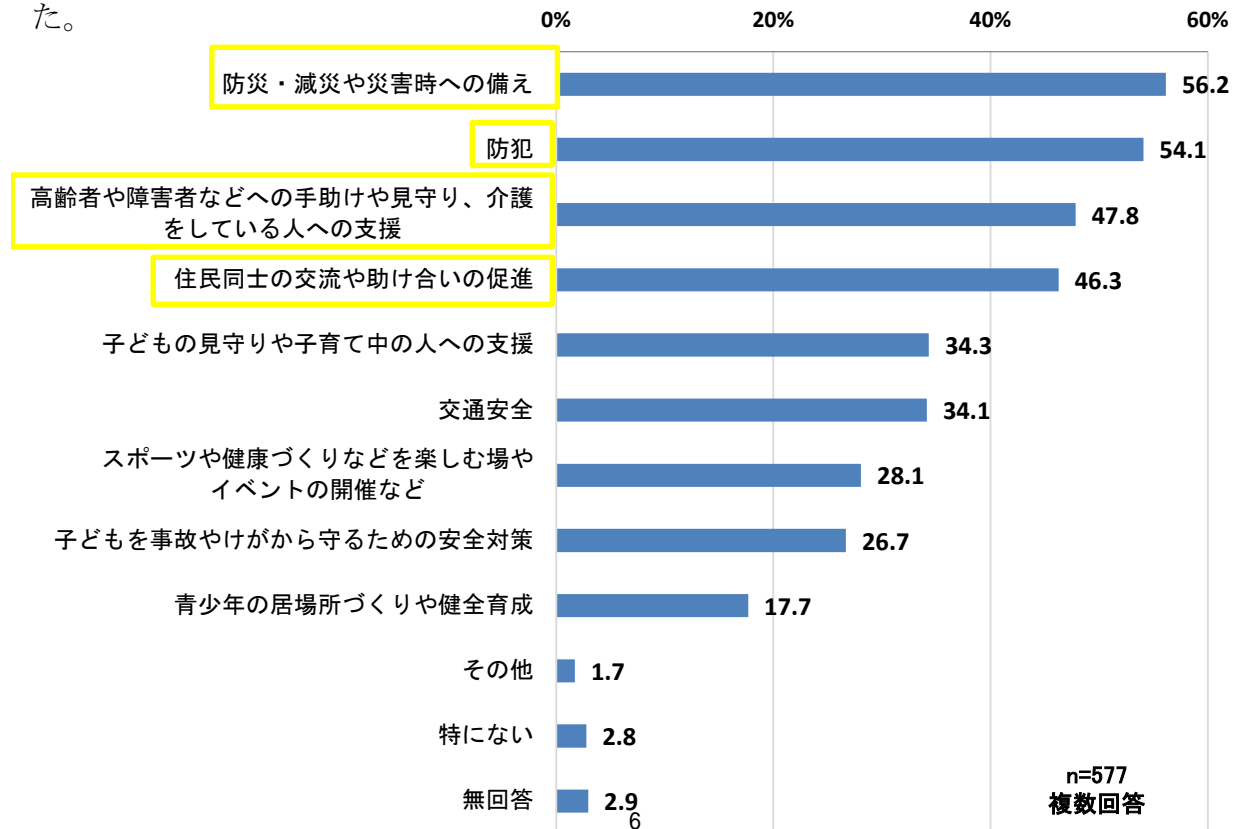
(3) セーフコミュニティの重点取組への関心

交通安全、災害への備え、防犯対策に高い関心が寄せられる一方、スポーツ時のけが予防、自殺予防対策への関心は比較的低い傾向がみられました。



(4) 地域で取り組むべき、安全・安心に関わる地域活動

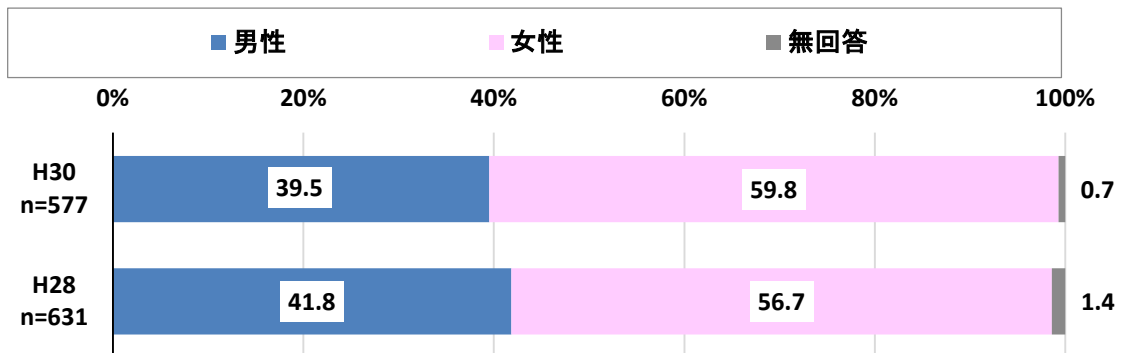
「防災・減災や災害時への備え」(56.2%)、「防犯」(54.1%)がともに5割以上と高く、次いで「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」(47.8%)、「住民同士の交流や助け合いの促進」(46.3%)の順となりました。



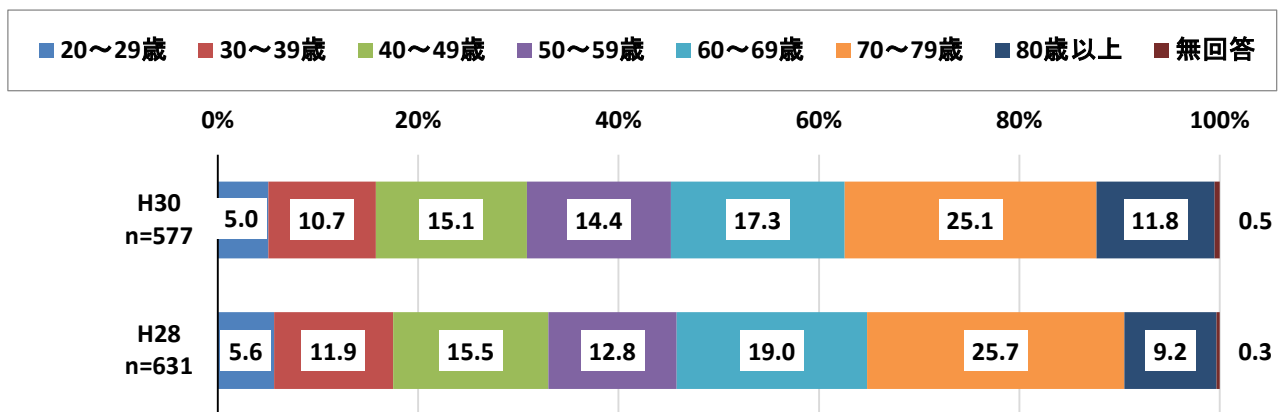
3 回答者の属性

アンケートの回答者数は減少しましたが、平成28年度の調査と大きな差は見られませんでした。

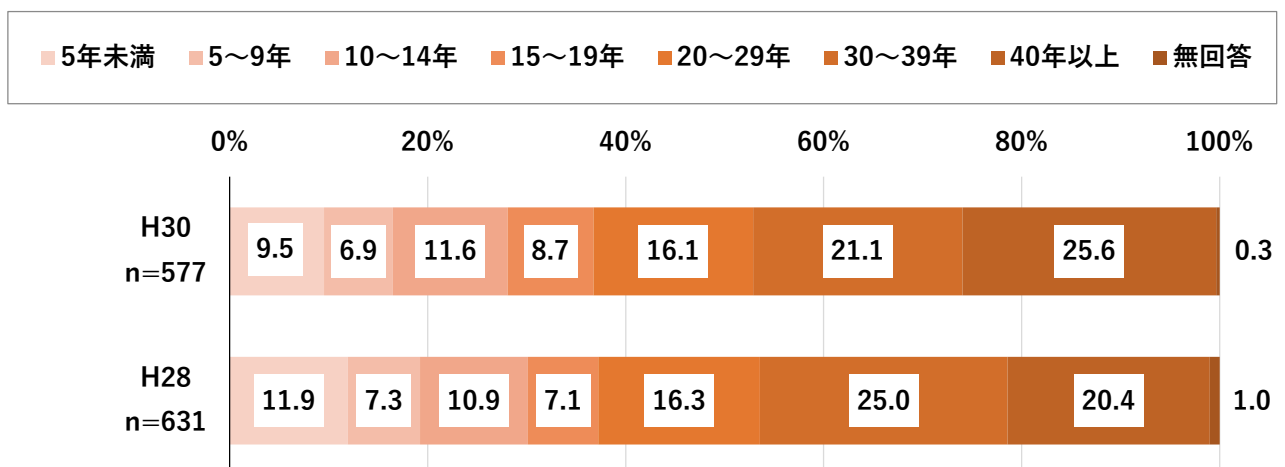
(1) 性別



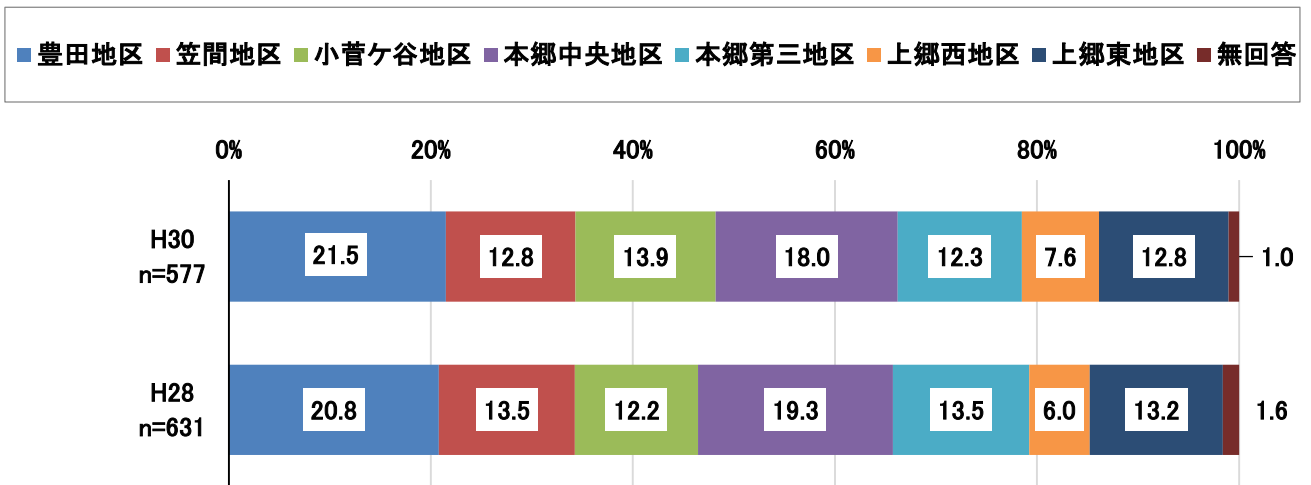
(2) 年齢



(3) 居住年数

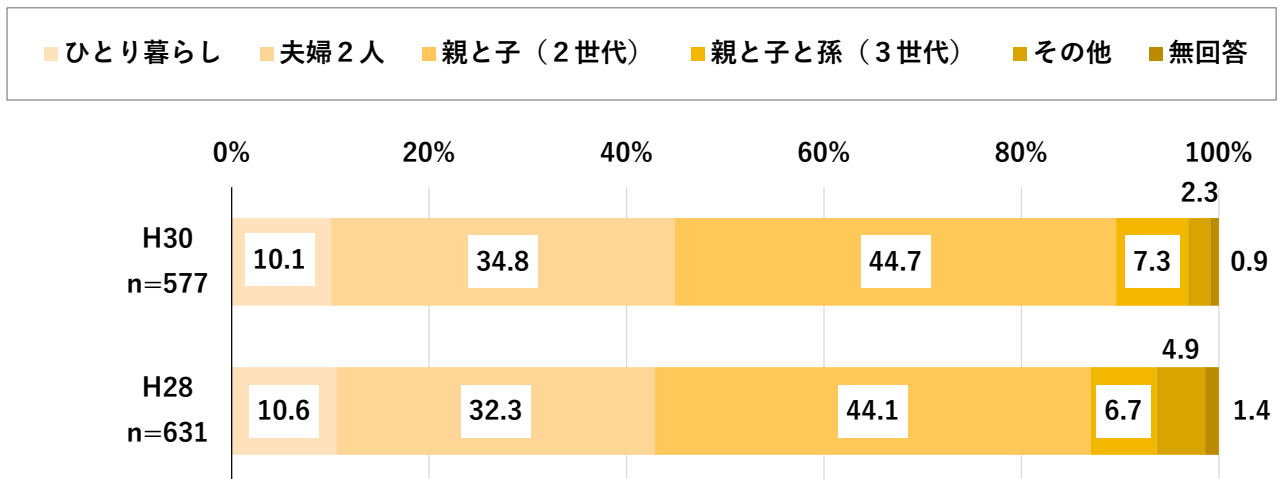


(4) 居住地区



豊田地区 : 飯島町、金井町、田谷町、長尾台町、長沼町、本郷台一丁目～五丁目
 笠間地区 : 笠間町、笠間一丁目～五丁目
 小菅ヶ谷地区 : 小菅ヶ谷町、小菅ヶ谷一丁目～四丁目、小山台一丁目～二丁目
 本郷中央地区 : 桂台北、桂台中、桂台西一丁目～二丁目、桂台東、桂台南一丁目～二丁目、桂町、公田町
 本郷第三地区 : 鍛冶ヶ谷町、鍛冶ヶ谷一丁目～二丁目、中野町、柏陽、元大橋一丁目～二丁目、若竹町
 上郷西地区 : 犬山町、尾月、上之町、亀井町
 上郷東地区 : 上郷町、庄戸一丁目～五丁目、長倉町、野七里一丁目～二丁目、東上郷町
 ※ 町界で区分しているため、連合町内会のエリアとは一部異なっている部分があります。

(5) 家族形態



平成 31 年度の栄区セーフコミュニティ活動について

1 平成 31 年度の取組

平成 30 年度の再認証取得を契機に、セーフコミュニティの理念である安全・安心なまちづくりをより推進するため、現地審査での審査員の意見等を踏まえた各分科会の活動方針の検討を行います。また、セーフコミュニティがより多くの区民に認知されるよう、引き続きプロモーション活動を展開し、10 月には「さかえセーフコミュニティフォーラム」を開催します。併せて、各分科会の活動実績を年次報告書としてまとめ、WHO 協働センターに報告します。

(1) 各分科会の取組について

30 年度の現地審査における審査員からの指摘・助言やセーフコミュニティアンケート等の結果を踏まえ、各分科会において 31 年度の活動方針を検討します。

また、学識経験者等から構成される傷害サーベイランス分科会（6 月頃開催予定）において、各分科会の方針に対し、傷害サーベイランス分科会委員が評価・助言を行います。

(2) セーフコミュニティフォーラムの開催について

栄区では、認証を取得した 10 月を毎年「セーフコミュニティ推進月間」とし、PR の強化等、安心・安全の取組を区民全体で盛り上げていく重点期間としています。今年度はその看板となる事業として、10 月 5 日（土）に「さかえセーフコミュニティフォーラム」を開催します。

開催概要

日程：平成 31 年 10 月 5 日（土）午後

会場：栄公会堂 講堂

内容：講演、分科会活動展示 等 （予定）

(3) プロモーションについて

平成 30 年度に実施したセーフコミュニティアンケートの結果を踏まえ、より効果的な広報活動を展開します。（議題 4）

(4) その他

セーフコミュニティ推進自治体ネットワークの一員として、他自治体との交流を進めます。

31 年度の主な予定：【現地審査】さいたま市、十和田市

【事前指導】秩父市、鹿児島市、厚木市

平成 31 年度セーフコミュニティ事業プロモーション活動について

昨年度の再認証取得を契機に、区民の方によりセーフコミュニティを身近に感じ、活動の輪に参加していただくのと同時に、区全体でセーフコミュニティ活動を盛り上げるため、以下のとおりプロモーションを実施します。

1 セーフコミュニティの認知度について

平成 30 年度に実施した栄区セーフコミュニティアンケートでは、「セーフコミュニティについて全く知らない」人が 63.8%と過半数を占めました（表 1）。

表 1 Q.「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。

回答	割合 (%)
セーフコミュニティの活動に参加したことがある	2.6
セーフコミュニティの活動について知っている	5.5
セーフコミュニティという言葉を知っている	26.7
セーフコミュニティについて全く知らない	63.8
未回答	1.4

居住歴	回答	知っている (%)	知らない (%)	未回答 (%)
5 年未満		29.1	70.9	0.0
5 年以上 10 年未満		45.0	55.0	0.0
10 年以上 15 年未満		29.9	67.2	3.0
15 年以上 20 年未満		44.0	54.0	2.0
20 年以上 30 年未満		32.3	67.7	0.0
30 年以上 40 年未満		34.4	63.9	1.6
40 年以上		35.8	62.2	2.0

表 2 Q.「セーフコミュニティ」について、どの程度知っていますか。(居住歴別)

年齢層	割合 (%)
20～29 歳	79.3
30～39 歳	72.6
40～49 歳	63.2
50～59 歳	67.5
60～69 歳	60.0
70～79 歳	62.8
80 歳以上	54.4

表 3 「セーフコミュニティについて全く知らない」と回答した人の年齢層別割合

(平成 30 年度 栄区セーフコミュニティアンケート N=577)

また、平成 25 年の認証取得以降に栄区に居住している区民の認知度が低い状況にあります（表 2）。この傾向は 29 年度に実施した区民意識調査と同様であるため、引き続き「セーフコミュニティ」という単語を目にしてもらおうよう、広報よこはま等を活用したプロモーションを実施します。

さらに、年齢別に認知度を見ると、20～50 代は「セーフコミュニティについて全く知らない」と回答した人の割合が特に高い（表 3）ことから、当該層への認知度拡大のための取組を実施します。

2 プロモーション活動について

(1) 全体的な認知度を高めるための取組

ア 広報よこはま「セーフコミュニティコラム」掲載（隔月）、特集（9月号）

各分科会を紹介するコラムを隔月で掲載します。また、特集への掲載は、例年「セーフコミュニティ推進月間」である10月に実施していましたが、10月5日開催予定のセーフコミュニティフォーラムに1人でも多くの方にご来場いただけるよう、1か月前倒しし、9月に実施します。

イ 栄区なう！TV

月一回、区の魅力や区民の皆さまの活動をご紹介する地域情報番組「栄区なう！TV」（ケーブルテレビ局J:COM）において10月のセーフコミュニティフォーラムの様子を11月に放映します。

ウ コミュニティポール懸垂幕・エアポップ等の掲示

本郷台駅のコミュニティポールに懸垂幕を掲示するほか、エアポップを各種イベントで展示することで、多くの区民の目に触れる機会を作ります。

エ のぼりの配付

区内市立小中学校にのぼりを配付します。また、これまでに配付し、掲出していただいているのぼりの更新を受け付けます。

オ 区民まつりでのPR

区民まつりでブースを設け、取組のパネル展示やアンケート、啓発グッズの配付等を実施します。

カ 栄図書館でのパネル展開催

10月に「安全・安心のまちづくり "セーフコミュニティさかえ"」をテーマに展示を行います。

(2) 認知度が低い、または特定の層にアプローチするための取組

ア リーフレット・啓発グッズの配布

新たに居住する区民へのPRのため、転入者セットへのリーフレット封入を行うほか、各分科会の実施イベントや区役所実施イベント等でも折に触れてリーフレット・啓発グッズの配布を行います。また、子育て世代の認知度を向上するため、子どもが手にしやすい啓発グッズの作成を検討します。

イ 企業との連携

セブン&アイグループ等、横浜市との包括連携協定を締結している企業や、区内に店舗をもつ企業について、店舗でのポスターやチラシの掲示等、連携に向けた検討を進めます。

ウ 関係団体との連携

分科会委員の所属団体等のホームページや会報誌でセーフコミュニティを紹介していただく際、写真等の素材を提供します。

30年度実績：消費生活推進員からのお知らせ、体育協会、本郷中央地区社協 等

平成30年度の栄区セーフコミュニティ活動について

こども安全対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	養育者への啓発	乳幼児期の子どもの救急搬送件数の減少
2	子どもへの注意喚起（KYTの実施）	学齢期の子どもの事故件数の減少
3	地域の住民による見守り	「安全・安心な地域である」と感じる子どもの増加

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	5月31日開催	現地審査プレゼン資料及びスケジュールの確認、意見交換
第2回	2月21日開催	KYTセミナーの報告、今後の取組について、意見交換

■平成30年度の分科会による主な活動

- ・養育者への啓発
保育施設・地域子育て支援拠点やこにちは赤ちゃん訪問において、事故予防クリアファイル等の配布。事故予防に関する養育者向けアンケートの実施
- ・子どもへの注意喚起
子ども会イベントやキッズクラブなどの放課後施設において、子どもたちへのKYT（危険予知トレーニング）の実施。子育て団体関係者及び一般区民向けKYTセミナーの実施
- ・子どもの見守り
地域住民や分科会委員を中心とした、「こども110番の家」の普及や登下校の見守り活動の実施
小・中学生を対象に安全安心な地域づくりに関するアンケートの実施

スポーツ安全対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	けが予防講習会の開催	運動競技事故による救急搬送件数の減少
2	ウォーキングの推進	運動競技事故による救急搬送件数の減少

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	5月22日開催	現地審査について、平成29年度実施のアンケート結果について、平成30年度分科会企画講習会について
第2回	3月5日開催	分科会だよりの発行について、平成31年度の取組について、スポーツ活動時に発生した事故・けがに関するアンケートについて、平成31年度分科会企画講習会について

■平成30年度の分科会による主な活動

- ・分科会企画講習会として足首捻挫に関するけが予防講習会を行いました。
実施日：平成30年9月9日（日）
参加者数：74名
- ・各種スポーツイベントにて、準備運動の実施喚起を行いました。

交通安全対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	自転車ヘルメット着用啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故による子どもの死傷者数の減少 ・自転車事故による子どもの救急搬送のうち、頭部損傷の割合の減少 ・子どもの交通事故件数の減少
2	スクールゾーン対策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの交通事故件数の減少 ・交通事故による子どもの死傷者数の減少
3	高齢者交通安全教室	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通事故件数の減少 ・交通事故による高齢者の死者数の減少

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	4月18日開催	活動報告、今後の実施計画、平成29年度スクールゾーン対応状況の確認
第2回	9月6日開催	活動報告、今後の実施計画、事前指導資料の確認・当日の流れ
第3回	11月17日開催	活動報告、今後の実施計画、事前指導の講評要旨確認
第4回	2月2日開催	活動報告、今後の活動計画、平成30年栄区内交通事故件数等確認

■平成30年度の分科会による主な活動

- ・各季における計6回の交通安全キャンペーン実施や強化月間におけるキャンペーン実施
- ・区内全14小学校のスクールゾーン対策協議会と関係者による協議、見守り活動。警察署、土木事務所、区役所による交通環境の改善等実施
- ・ヘルメット着用チラシの小学校・市立保育園への配布
- ・高齢者向け交通安全教室

児童虐待予防対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	さかえっ子の笑顔ひろげ隊活動周知	子育て世帯と接するすべての方々が、養育者と子どもを温かく見守り、安心して子育てができる地域づくりを推進をする。
2	赤ちゃんふれあい体験	自主的に中学の課外活動として育児教室に参加することにより、家族・家庭の役割や自立的に生きる基礎を培う。
3	いのちの授業	思春期の子どもたちが、胎児の成長、乳児とお母さんとの交流を通じ命の大切さ、他人を思いやる心などを育む。
4	専門家による早期対応	児童虐待による死亡事例・重篤事例の予防。児童虐待対応件数、要保護児童数の減少。

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	4月24日開催	平成30年度活動計画
第2回	7月25日開催	赤ちゃんふれあい体験活動計画検討、地域向け啓発活動検討
第3回	9月11日開催	赤ちゃんふれあい体験実施結果共有、区民祭りでの周知方法検討
第4回	11月20日開催	区民祭り活動振り返り、いのちの授業活動計画検討
第5回	1月30日開催	いのちの授業活動計画確認、中学校での赤ちゃんふれあい体験実施方法の検討
第6回	3月19日開催	平成30年度の活動振り返り、いのちの授業について振り返り

■平成30年度の分科会による主な活動

地域の子育て関連イベントや区民まつり等、様々な機会を通じて児童虐待予防のための啓発活動を行った。
また次世代を担う子どもたちの育成として、平成27年度から開催している「いのちの授業～赤ちゃんふれあい体験」を30年度から開催を拡大し、西本郷中学校と桂台中学校の2校の3年生を対象に実施した。

高齢者安全対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	転倒予防に資する取組	高齢者の転倒・転落件数、割合の減少
2	ヒートショック対策	高齢者の不慮の溺死及び溺水による死者数の減少

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	5月10日	再認証について（スケジュール、資料確認）、今年度の取組・方針について、転倒予防アンケート集計結果報告等
第2回	9月13日	再認証報告、式典スケジュール、転倒予防講習会報告、転倒予防啓発新規チラシについて
第3回	2月21日	今年度の活動振り返り及び来年度に向けた取り組みの課題について、来年度分科会体制について

■平成30年度の分科会による主な活動

- ・上記分科会のほか、実務者会議を2回（7月、1月）開催した。
- ・転倒予防の普及啓発を、元気づくりステーションや地域の自主活動の中で実施した。
- ・転倒予防体操の支援者向け講座を3回実施し、より身近な地域で取り入れられるよう啓発を行うとともに、転倒予防アンケート結果をもとに啓発チラシを作成した。
- ・ヒートショック対策の普及啓発を、地域のイベントや区民まつりで行い、啓発ポスターの掲示依頼を新たに施設等に依頼した。

災害安全対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	実践的な防災拠点訓練への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・炊き出し訓練・学校と連携した訓練 ・区割り訓練を行う拠点の増加 ・地震災害による死傷者数の抑止
2	災害時要援護者支援の取組拡大	地震災害による死傷者数の抑止
3	栄区独自の「地域避難所」設置及び訓練実施	地震災害による死傷者数の抑止

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	5月30日開催	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災拠点訓練実施状況について ・セーフコミュニティ再認証に向けて（プレゼン資料確認） ・セーフコミュニティ再認証に向けて（現地審査について） ・今後のスケジュールについて
第2回	10月31日開催	<ul style="list-style-type: none"> ・セーフコミュニティ現地審査を受けて ・今後の取組について

■平成30年度の分科会による主な活動

- 実践的な防災拠点訓練の実施
 - ・各拠点の訓練状況について課題や今後の方向性について協議した。
 - ・避難所の環境改善により災害関連死を減らすため、別教室の活用について各学校に対して働きかけを行った。
- 災害時要援護者支援の取組拡大
 - ・講演会、出前講座の実施や、申請のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、災害時要援護者支援の取組を推進した。
 - ・災害時要援護者避難支援訓練を促進するため、自治会町内会に補助を行った。
- 地域避難所の設置及び訓練実施
 - ・出前講座などの機会を通じて地域避難所の理解促進をおこなった。

自殺予防対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	啓発活動の展開	自殺者数、自殺死亡率の抑制
2	ハートフルサポーター	支援機関へつながる件数の増加
3	リスク者への支援強化	自殺者数、自殺死亡率の抑制

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	9月6日開催	<ul style="list-style-type: none"> 再認証現地審査の報告 29年度自殺予防対策の取組について報告 30年度自殺予防対策の取組について 自殺ハイリスク者支援対策検討部会より 横浜市自殺対策計画（仮称）について
第2回	3月12日開催	<ul style="list-style-type: none"> 30年度栄区の自殺予防対策の取組について 横浜市自殺対策計画（仮）について 地域自殺実態プロファイルについて 31年度自殺予防対策に関する取組スケジュール

■平成30年度の分科会による主な活動

- 自殺予防啓発
 - ・キャンペーンの実施
9月自殺予防週間、3月自殺対策強化月間に合わせ駅前キャンペーンや図書館企画展を実施
分科会委員の協力を得た啓発活動
(委員が属する団体とのキャンペーンや、委員が参加するイベントでの啓発物品の配付など)
- 講演会、研修、ネットワーク
 - ・区民向け講演会の開催
「今日からあなたも眠りスペシャリスト～意外と知らない 睡眠のメカニズムと睡眠習慣～」
 - ・ハートフルサポーター育成研修（区転入、新任職員）の開催
 - ・生活困窮者に関するネットワーク会議、警察・消防・病院との連携会議の開催
- リスク者対応
 - ・メンタルヘルス支援ネットワーク、メンタルヘルス従事者専門研修の開催と開催方法の検討
 - ・リスク者向けリーフレットとパンフレット、カードの配付、配架場所を拡充

防犯対策分科会

■取組

	取組内容	目的
1	振り込め詐欺の被害者層への啓発実施	振り込め詐欺の認知件数、被害金額の減少

■平成30年度の分科会開催状況

	日程	内容
第1回	5月11日開催	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度栄区セーフコミュニティ現地審査当日の流れ 審査当日の発表資料の確認
第2回	10月16日開催	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度栄区セーフコミュニティ再認証式典の報告 各団体における取組みの報告
第3回	2月13日開催	<ul style="list-style-type: none"> 各団体における取組みの報告 被害者向けの振り込め詐欺に関するアンケート結果について

■平成30年度の分科会による主な活動

- ・栄区民まつりにおける防犯ブースの設置、啓発の実施
- ・区内施設で、振り込め詐欺に関するアンケートの実施
- ・ポップアップシール、防犯ベスト等のグッズ作成、啓発の実施